

2020年度萩博物館展示案内

2020

4月

<春> 世界遺産登録5周年記念企画展

世界遺産を守った夏みかん

4月1日(水)～6月9日(火)

世界遺産として、日本の歴史と生命遺産の精華を誇る一つとして萩城下町には、長州藩の重臣が主とした武家屋敷地が含まれています。その中心部には、長門の地割や街の形が江戸時代から残っており、武家屋敷の大きな改変から守られた萩特産品「夏みかん」のひみつに迫ります。



土塙と夏みかん

6月10日(水)～12日(金) 休館

<夏> 第14回自然科学系特別展

古代生物キングダム

6月27日(土)～8月31日(月)

太古の地球には、我々が目にしたことのないような不思議な生物たちが繁栄と絶滅を繰り返していった。“ターモスタット”と呼ばれる奇想天外な姿をした生物、大地を揺るがせ、地球の王者となつた恐竜などの化石の複製模型、画像資料(約80種類)を開き、さらに「地上に眠るあの生物」の化石も登場!この夏、萩博物館は古代生物が集結する王国になる!?



原始の恐竜「エオプラトル」(模型)
中央宣伝企画蔵

<秋> 世界遺産登録5周年記念特別展

萩の世界遺産 ―幕末、サムライたちの挑戦!―

9月19日(土)～11月29日(日)

平成27年(2015)に世界文化遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産」。萩市にはその構成資産が5つも存在しています。本展では、世界遺産登録の裏付けとなった古文書や絵図、写真などを多数公開。サムライたちが挑んだ科学技術の軌跡を追います。



長州藩建造第一号軍艦「丙辰丸」
山口県文書館蔵

<冬> 世界遺産登録5周年記念企画展

世界遺産・萩城下町のひみつ

12月5日(土)～令和3年3月31日(水)

世界遺産の構成資産の一つである萩城下町は、幕末期に日本が産業化に取り組んでいった当時の姿を良くとどめていることが評価されました。萩城下町が江戸時代から大きく変わらなかったひみつを解き明かし、萩城下町を楽しむことができるまち歩きを提案します。



「山口県最大の城下町絵図」
(江戸時代中期)

令和3年1月27日(水)～29日(金) 休館

※10月以降、特別展開催期間中を除く毎週水曜日(祝日の場合はその翌平日)および年末年始(12/30～1/1)は休館となります。

※画像は全てイメージです。展示物は変更される場合があります。

内容変更

2021

1月

2月

3月

常設展示室リニューアルオープン



【常設展(有料)】

- リュウグウノツカイなど萩が誇る目玉資料が集結。
- 萩城下町の世界的価値に迫る資料群を展示。



【エントランス(無料)】

城下町散策のための情報拠点「まち歩きステーションはぎ博」開設。
探Qはぎ博：親子向けの体験アイテムを展開。
未就学児と保護者専用の「キッズはぎはく」も併設。

休館日情報

6月10日(水)～12日(金)

令和3年1月27日(水)～29日(金)

※10月以降、特別展開催期間中を除く毎週水曜日(祝日の場合はその翌平日)および年末年始(12/30～1/1)は休館となります。

萩市内の関連施設

須佐歴史民俗資料館「みこと館」

企画展「おもてなしの世界～毛利家への食・花火～」

7月中旬～ 藩主毛利家に対する「食」と「花火」による暮らした企画展。代家老益田家、家臣による「おもてなし」を再現しています。また、企画展に関連した講演会や、中心の益田家による饗応を再現している益田市との交流事業も実施しています。

常設展「益田家と須佐の家臣」

4月～7月中旬、10月～3月

特別展示「大塚均オリンピック展」

6月20日(土)～8月23日(日)予定

〒759-3411 山口県萩市大字須佐4441番地
TEL 08387-6-3916 FAX 08387-6-2030

阿武川歴史民俗資料館

テーマ展示「湖底のふるさと」

〒758-0141 山口県萩市川上小市ヶ谷 TEL 0838-54-2024

萩博物館

〒758-0057 山口県萩市大字堀内355番地
開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)
TEL:0838-25-6447 FAX:0838-25-3142
URL: <https://www.city.hagi.lg.jp/hagihaku/>
E-mail: muse@city.hagi.lg.jp

